

大学史研究会事務局

〒192-0003 八王子市丹木町 1-236 創価大学教育学部 坂本辰朗研究室内 大学史研究会
TEL 0426-91-4602 FAX 0426-91-9309 EMAIL sakamoto@s.soka.ac.jp

大学史研究会事務局員 (五十音順)

阿曾 明裕 (名古屋大学)
大川 一毅 (早稲田大学)
見玉 善仁 (帝京大学)
進藤 修一 (大阪外国語大学)
橋本 敏市 (大学評価・学位授与機構)

飯野 靖夫 (日本鯨類研究所)
木戸 裕 (国立国会図書館)
坂本 辰朗 (創価大学)
塚原 修一 (国立教育研究所)

大学史研究通信

第26号、2001年7月31日(土)
大学史研究会

第26号の内容：計報・佐野正周会員逝去・新入会員・会員ニュース・事務局通信担当
からのお知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

計報
佐野正周 会員



大学史研究会の古くからの会員であった佐野正周氏(岩国短期大学教授)が、昨年11月10日、胃癌のため急逝された。52歳という若さであった。

故佐野正周氏は広島大学教育学部在学中よりずっと、一貫してアメリカ大学史の研究に取り組んだわが国で数少ない専門家の一人であった。卒業論文以来、アメリカ大学史に関する諸テーマに取り組んでいた。一般教育の歴史も大きな関心事であった。史料に基づいて丹念に実証するというやり方でコツコツと成果を積み上げていた。派手な研究スタイルではなかった。研究会や学会でも、黙ってじっくりと報告や議論に耳を傾けるといふ風であった。地味だがしかし堅実なその研究の成果は、やがてアメリカ大学史に関する基本的な書物としてまとめられ、学界および現在の大学改革論議に大いなる裨益をもたらすはずであった。それを手にすることのできないわれわれの悔しきは言うに及ばず、当人の無念は察するにあまりある。

そうした彼の思いの一端はこのたび、ご遺族を通じて蔵書を通じ蔵書の寄贈というかたちで表されることとなった。故佐野氏が長年にわたって収集したアメリカ大学史に関する文献・資料等がすべて、広島大学大学院教育学研究科の西洋教育史研究室に寄贈され、研究者による活用を待つことになったのである。蔵書を預かる者としては是非、多くの方々の方々に活用していただき、研究の発展に役立ててもらいたいと念じている。それが故人の遺志にかなうと信じるからである。

故佐野正周氏のご冥福を心より祈りつつ。

安原 義仁 (広島大学)

新入会員 (敬称略)

田中 正弘 (ロンドン大学教育研究所 比較教育学研究室博士課程)

専門分野: 比較教育学

主要テーマ: 比較大学史 (19世紀以降のドイツ、アメリカ、日本)

占領期教育改革 (ドイツ、日本)

村越 純子 (慶應義塾大学大学院)

主要テーマ: 高等小学校と中心とした地方教育史
近代日本の女子商業教育史

会員ニュース

池田 輝政 会員 (住所変更)

原稿募集

『大学史研究通信』第27号は2001年9月30日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿・お問い合わせ等は『通信』編集担当の進藤までお願いいたします。連絡先は最終ページをご覧ください。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属(昇任・学位取得も含む)に変更のある会員は『通信』編集担当進藤までご一報くださるようお願いいたします。教授・研究のために海外にご滞在予定のかたも、海外での連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は最終ページをご覧ください。進藤研究室宛にお願いいたします。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号まで希望者に頒布いたします。80円×部数+郵送料(1部の場合90円、2部以上は120円)分の切手を同封の上、編集担当進藤宛までご請求下さい。ご連絡は最終ページをご覧ください。

編集後記 大学改革がこれほど話題になったことはあつたでしょうか。編集子にも次々と改革がらみ仕事の仕事まわされて、時代の波に翻弄されております。本来5月に発行すべき『通信』が、2ヶ月近く遅れてしまったのも、仕事量の劇的な増大によるものです。しかし、社会と大学の関係を考え、大学の存在意義をアピールするために、大学史研究会が果たすべき役割は、より重要になってきているように思われます。会の発展のために、できる範囲内ではあります。今号には坂本事務局代表の「会員獲得キャンペーン」皆様のご協力をお願いいたします。今号には坂本事務局代表の「会員獲得キャンペーン」記事を掲載いたしました。会員各位が、身近でできることからご協力ねがえればと存じます。(進藤記)

『通信』編集は事務局・進藤修一が担当しております。

連絡先 〒562-8558 大阪外国語大学外国語学部 進藤 修一 研究室内

TEL/FAX 0727-30-5355 EMAIL sshindo@pop13.odn.ne.jp

『大学史研究通信』第27号は、9月30日発行予定です。

岡田 大士 会員 (住所変更)

新住所:

奥山 洋一郎 会員 (住所変更)

新住所:

栗原 詩子 会員 (所属・住所変更)

新住所:

電話

新勤務先: 九州芸術工科大学 ('01年4月1日より)

早島 瑛 会員 (在外研究、2001年4月1日～9月29日)

松下 佐知子 会員 (所属・住所変更)

新所属: 京都市政史編さん委員会

新住所:

電話番号:

山内 乾史 会員 (住所変更、'01年5月15日より)

新住所:

電話

第24回大学史研究セミナーについて

すでにお知らせしましたように、第24回大学史研究セミナーは広島大学でおこなわれます。すでに同大学では、仙波、安原、羽田の三会員を中心に準備が進んでいます。今回は以下のように、海外からゲストを招いて国際シンポジウムを開催する予定です。

テーマ: 大学理念の歴史的考察

会場: 広島大学教育学部 or 広島大学学士会館 or 高等教育研究開発センター

日程: 11月23日 (金) ー25日 (日)

現在のところ、23日の午後自由研究の発表セッションを、24日を国際シンポジウムに充てる予定です。海外からはイギリス、アメリカ、ドイツから上記テーマに適切な研究者を招聘するため、現在、人選と交渉がおこなわれています。会員の皆様からも積極的にご意見をいただければと存じます。

会員獲得キャンペーンについて

坂本 辰朗（事務局）

事務局の窓口を担当する私のところへは、毎月少なくとも数件は、研究会への入会あるいは情報の照会がメールなどで寄せられます。会員は着実に増えておりますが、ここで攻勢に出ることは意味のあることと思いません。とくに、昨年の『大学史研究通信』での、進藤会員による学会への体制替えという提案も傾聴に値するものであり、そのためにもしつかりとした基盤づくりが必要で、そこで、会員獲得キャンペーンを提案したいと思えます。具体的には、入会していただけたらそちらの方に『大学史研究』を贈呈することです。こんなこともあろうかと16号は通常より50部余計につくりました。内容も研究会の水準を示すに足る秀逸な論文が掲載されています。会員諸氏におかれましては、どうか積極的にキャンペーンにご協力をいただきたく存じます。

事務局の方へ情報をお送りいただければ、個人、機関を問わず、上記の紀要を送らせていただきます。何とぞよろしくお願いたします。

『大学史研究』第16号の正誤表を掲載します

鈴木秀幸会員執筆の「大学史と地方史」（『大学史研究』第16号）の正誤表を掲載いたします。会員各位は修正方よろしくお願いたします。

『大学史研究』第16号の正誤表

ページ	行	誤	正
P. 5	23行目	年表	年報
P. 6	1行目	法律結社の生	法律結社の篠生
P. 6	4行目	諸想	諸相
P. 6	15行目	トラベル	トラブル
P. 7	28行目	あつてもあつても	あつても